

教育民生

管外行政視察

11/11 ▶ 11/13

福井県越前市
石川県白山市
長野県佐久市



取組状況をユーモアを交え説明する職員（佛子園）

管外行政視察

教育民生常任委員会は、11月11日から13日まで福井県越前市、石川県白山市の社会福祉法人佛子園、長野県佐久市で行政視察を行いました。

今回の視察目的は、常任委員会で取り組んでいる子ども基本条例制定に向け先進地の取組状況を参考にすることです。

越前市では、子ども居場所づくり事業を視察しました。公民館等を会場として、自由来館方式による学習支援を柱とした居場所づくりが進められていました。運営には、多くのボランティアが携わっており、市内に大学があることも、ボランティア人員確保に貢献していました。本市の現状を考えると需要と運営体制の確保を考えさせられました。佛子園では、「こちやまぜ」をコンセプト

トに保育所・障がい者施設・介護施設等の機能が同居する施設づくりを行なっていました。施設内には、温泉やフィットネスジム、飲食店もあり、地域住民も多く利用していました。単なる福祉施設ではなく地域を巻き込んで相互理解を促進する工夫がされており、本市の基本理念である「ノーマライゼーション」という言葉の「いらぬまち」にも通じる、社会的包摂の実践例を学ぶ機会となりました。

佐久市では、議員提案で制定された子どもの権利条例について伺いました。制定に関わった議員から苦労した点、住民意見の聴取や議会内の合意形成等、制定過程についての説明を受けました。

子どもを取り巻く環境の変化を的確に捉え、視察や現地調査を複数回行い、子どもへの直接アンケートを実施するなど、



条例制定までの経過を説明する議員（佐久市議会）

条例制定に向けて私たちの想定以上にきめ細かな取り組みが行われていました。

本委員会でも現在「子ども基本条例」の制定に向け作業を進めています。この視察を通しての気づきや、丁寧に進めなければならぬ点を確認したため、今後条例制定に向け一層の調査・研鑽を積み努力してまいります。

委員長 佐々木 一義
副委員長 大坪 涼子
菅野 良麻
菅野 広紀
福田 利喜
伊藤 明彦

産業建設

所管事務調査

11/29 12/9 12/13

一次産業省力化機械への補助を
政策提言

所管事務調査

産業建設常任委員会は、12月13日に佐々木拓市長に対して政策提言書の手交を行いました。

また、それに先立ち、11月29日と12月9日には提言書の取りまとめを行いました。

提言は、「一次産業省力化機械導入補助制度の創設について」と題し、本委員会の調査活動のテーマである産業振興の観点から、一次産業の省力化機械を導入する際に市としての補助制度創設を求めるものです。

提言に対して市長は、「全国的に必要な制度であり、本市が先例的なものとなるように農協や漁協なども相談し取り組みたい」と述べました。

提言書の手交には、委員会から大坂俊

委員長と伊勢純副委員長、そして、鷺浦昌也副議長が出席。当局からは、市長、石渡史浩副市長、熊谷重昭地域振興部長、石川浩水産課長が対応しました。

政策提言の概要は、次の通りです。

一次産業省力化機械導入補助制度の創設について（概要）

本市一次産業（農業・林業・漁業）の従事者が省力化機械を導入する場合に本市独自に補助率1/2、補助上限50万円を目安に広く支援をおこなうもの。

なお、詳細は本市公式ウェブサイトをご覧ください。



公式ウェブサイト



委員会から市長へ政策を提言

委員長 大坂 俊
副委員長 伊勢 純
菅野 秀一
小林 卓一
及川 修